



次世代ICTと未来医療を支える 神経科学・神経工学・ 脳型コンピューティング

第83回応用物理学会秋季学術講演会シンポジウム

神経細胞と呼ばれるケミカルマシンの集合体として、脳はどのようにしてそのシステムとしての機能を獲得するのか。そのメカニズムを理解することは基礎研究として重要なことはもちろん、超スマート社会を支える新しい情報通信技術、そして超高齢化社会を支える次世代医療技術に直結します。本シンポジウムではこのような問題意識のもとで、神経科学、神経工学、脳型コンピューティングに関する先端研究を俯瞰した上で、ナノバイオや生体医工学分野の応用物理が果たすべき役割を議論したいと思います。

日時

9/20(火) 13:30～18:00(予定)

場所

東北大学/Zoomハイブリッド開催

招待
講演

池谷裕二 (東京大学)

バイオフィードバックによる能力開拓の試み

鈴木郁郎 (東北工業大学)

In vitro神経活動に基づいた医薬品評価

香取勇一 (公立はこだて未来大学)

大脳皮質に倣った動的予測符号化ネットワークモデル

松井鉄平 (岡山大学)

大脳ネットワークの自発的活動と感覚応答の関係について

正水芳人 (同志社大学)

神経回路を創出するための基盤技術開発

一般講演
募集中!!